

# 給水装置工事申請書 様式・書式集

## 様式集

様式番号	様式名称
※第1号 第17号 第18号	給水装置工事施行申込書 給水装置工事設計審査申請書 給水工事施行許可申請書
第2号	誓約書
第3号	臨時給水装置使用願
※第4号 第20号	給水装置竣工届 給水装置工事検査申請書
第5号	給水装置開栓申込書
第6号	閉栓願
第7号	給水装置所有者(代理人・管理人)届
第8号	給水装置所有者(代理人・管理人)変更届
第9号	給水装置使用者変更届
第10号	共用給水装置使用世帯異動届
第11号	削除
第12号	削除
第13号	私設消火栓使用許可届
第14号	私設消火栓使用届出書
第15号	量水器取替通知書
第16号	給水装置所有者変更届
第19号	給水装置工事(変更・取消し)届出書

※兼用様式

## 書式集

様式番号	書式名称
第50号	給水装置工事自主検査報告書
第51号	道路占用許可申請依頼書
第52号	誓約書
第53号	預かり金還付請求書
第54号	3階建て以上建物への直結直圧給水事前協議書
第55号	3階建て以上建物への直結直圧給水に係る誓約書
第56号	3階建て以上建物への直結直圧給水事前協議回答書
第57号	3階建て以上建物への直結増圧給水事前協議書
第58号	3階建て以上建物への直結増圧給水に係る誓約書
第59号	3階建て以上建物への直結増圧給水事前協議回答書
第60号	給水装置維持管理に関する届出書
第61号	給水装置維持管理に関する変更届出書
第62号	増圧装置等緊急連絡先表示板
第63号	私設メーター確認書
第64号	道路占用許可代理申請提出書類一覧
第65号	員数調書
第66号	同意書(区長・水利組合長)
第67号	同意書(隣接土地所有者)
第68号	道路法第34条意見調書
第69号	工程表

## 参考様式

様式番号	書式名称
第1号	分岐承諾書
第2号	土地通過承諾書

受付番号

令和 年 月 日

申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

申請者 住所

氏名

(電話 )

給水装置工事施行申込書  
給水装置工事設計審査申請書  
給水装置工事施行許可申請書

大阪広域水道企業団水道事業給水条例・熊取水道事業に係る大阪広域水道企業団水道事業給水条例施行規程に基づき、給水装置工事に係る給水装置工事施行申込書・給水装置工事設計審査申請書及び給水装置工事施行許可申請書を提出します。

給水装置工事施行場所	地番表示	熊取町		
	住居表示	熊取町		
指定給水装置工事事業者	事業者名	電話番号	( ) -	
		指定番号	大阪企第 号	
給水装置工事主任技術者名		主任技術者交付番号		
工事種別	新設・改造(改築・増築)・修繕・撤去			
給水方式	直結直圧・貯水槽(容量 m <sup>3</sup> )・3階4階直結直圧・直結増圧			
給水装置の種類	専用栓・工所用栓・臨時栓・給水引込管のみ・貯水槽下流・私設消火栓			
メーター口径	φ mm × 箇所	φ mm × 箇所	φ mm × 箇所	
給水栓数	栓			
給水管材料(本管分岐～止水栓)	φ mm	PP2・HIVP・HPPE・DCIP	(引込工事がある場合のみ記入)	
道路掘削工事について	無・有	必要許可種別	占有許可・埋設承諾(私道)・その他( )	
竣工予定日	令和 年 月 日 竣工予定			
※既設給水装置について	無・有	※既設給水管材料(本管分岐～止水栓)	φ mm	PP2・HIVP・HPPE・DCIP
※既設メーター口径	φ mm × 箇所	φ mm × 箇所	φ mm × 箇所	

遵守事項

- メーターの上に検針及び取替を害するような物を置いたり、工作物を設けたりしません。もし、工作物を設置する場合は、自費でメーター位置替え工事をいたします。
- この給水装置の維持管理については、自費で責任をもって対処します。
- 将来、この給水管の老朽化又は出水不良等により配管替えを必要とする場合は、自費で対応します。
- 給水装置の改造等を行う場合には、軽微な変更の場合を除いて、給水装置工事申し込みをします。
- この給水装置を第三者に譲渡する場合は、継承人に対して一切の権利義務を継承します。
- 私は、今般給水装置工事を行うにあたり、水道事業給水条例第23条に規定する給水装置の善良な管理及び上記事項を遵守し、貴水道事業に一切ご迷惑をかけません。
- この工事に関して利害関係人その他の者から異議があった場合、全て工事申請者の責任において解決します。

注意事項 太枠内のみ記入すること。また、※印は、既設給水管等が不明であれば、申請書提出時に窓口で確認して記入すること。用紙はA3版に印刷すること。

□ 給水装置の自己所有申立書

本件工事を施工する申請場所の既設給水装置については、私の所有です。

□ 加入金差額計算申請書

水道事業給水条例第36条の規定に基づき、本申請の既設給水装置にかかる加入金の差額の計算を申請します。

申請者氏名

加入金・手数料の算定

新築・同口径の建替え等の場合

新設量水器口径	既設量水器	加入金	円	手数料	円
13mm・20mm・その他( mm)	有・無				

口径変更の場合

加入金	新設量水器口径・金額	-	既設量水器口径・金額	=	差額	手数料	円
	mm	円	mm	円	円		

その他(集合住宅等の場合)

①(新設量水器口径・個数) - (既設量水器口径・個数) = 加入金必要口径・個数 ※新設量水器の口径が複数ある場合は、口径ごとに計算する。  
②(加入金必要口径・個数) × (加入金単価) = 【加入金必要額】 ③(新設量水器口径・個数) × (手数料単価) = 【手数料必要額】

既設給水番号

納付書の宛名	加入金	申請者・指定給水装置工事事業者・その他	(その他の場合はこの欄へ記入)
	手数料	申請者・指定給水装置工事事業者・その他	
	預り金	申請者・指定給水装置工事事業者・その他	

加入金について	納付書発行日	令和 年 月 日	納付書番号		入金確認	令和 年 月 日
手数料について	納付書発行日	令和 年 月 日	納付書番号		入金確認	令和 年 月 日
預り金について	納付書発行日	令和 年 月 日	納付書番号		入金確認	令和 年 月 日
納付金額確定連絡日	令和 年 月 日					

給水番号

受付	決裁	技術管理補助者	所長	所長補佐	総括チーフ	合議
	※決裁日	公印				
	令和 年 月 日					
	※許可書発行日					
	令和 年 月 日					
※文書番号	企熊第 - - 号					

# 工事施行位置図

縮尺

1/

方位

# 給水装置平面図（申請）

縮尺

1/

方位

- 注意事項
1. 図面は原則として縮尺 100分の1 とすること。
  2. 配管は新設管(赤)、本管・既設管(黒)で色分けし、正確に本管より宅内の水栓まで記入すること。  
(管種・口径・延長・寄り・立ち上げ・止水栓・メーター・水栓)
  3. 建築物は前面道路及び敷地境界線を含めて記入し、門、側溝、ブロック塀、ガレージ等の対象物も記入すること。
  4. 境界線から引込み位置までの距離、及び本管より分岐した場合は、本管の寄り・深さを記入すること。
  5. 本様式の記入事項を満たしていれば独自様式に替えることができる。ただし、用紙はA3ヨコまたはA4タテとすること。

- 注意事項
1. 図面は原則として縮尺 100分の1 とすること。
  2. 配管は新設管(赤)、本管・既設管(黒)で色分けし、正確に本管より宅内の水栓まで記入すること。  
(管種・口径・延長・寄り・立ち上げ・止水栓・メーター・水栓)
  3. 建築物は前面道路及び敷地境界線を含めて記入し、門、側溝、ブロック塀、ガレージ等の対象物も記入すること。
  4. 境界線から引込み位置までの距離、及び本管より分岐した場合は、本管の寄り・深さを記入すること。
  5. 本様式の記入事項を満たしていれば独自様式に替えることができる。ただし、用紙はA3ヨコまたはA4タテとすること。



申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

申出者 住所  
氏名 印

## 給 水 装 置 誓 約 書

下記の場所に設置されている分岐部からメーターまでの既設給水管口径φ mmを使用するにあたり、万一、出水不良・水圧不足等が生じましても大阪広域水道企業団に対し異議申しません。

また、給水装置の所有者及び使用者に変更があっても、この件については引き継ぐものとします。

記

1. 給水装置設置場所 熊取町

---



受 付			決 裁	所 長	所長補佐	総括チーフ		入 力	受 付
令和 年 月 日									

## 臨時給水装置使用願

申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

申 込 者 住 所

氏 名

(電 話 )

大阪広域水道企業団水道事業給水条例第19条の規定に基づき給水装置の開栓を申し込みます。

区 分	使 用 者	給 水 装 置 所 有 者 ( 施 主 )
住 所	(電話 )	(電話 )
ふりがな		
氏 名		

給水装置設置場所	熊取町 ( 棟 号 )
開栓(使用開始)年月日	令和 年 月 日 ( 午前・午後 時 分 )

## 量水器保管書

量水器 mm一個を借用いたしました。もし量水器を破損亡失したときは、その理由を問わずご指示に従い代金を賠償します。

借 用 者

量 水 器	交 付 年 月 日	令和 年 月 日	預 り 金	納付書 番 号	金 額	円	
	口 径	mm		入 金 確 認	令和 年 月 日		
	会 社 名		備 考				
	番 号						
	指 示 数						
	有 効 期 限	令和 年 月					

給 水 番 号										確 認
指定給水装置工事事業者							給水装置工事 主任技術者			

受  付		令和 年 月 日
------------	--	----------

## 給 水 装 置 竣 工 届 給 水 装 置 工 事 検 査 申 請 書

申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

申請者 住 所

氏 名

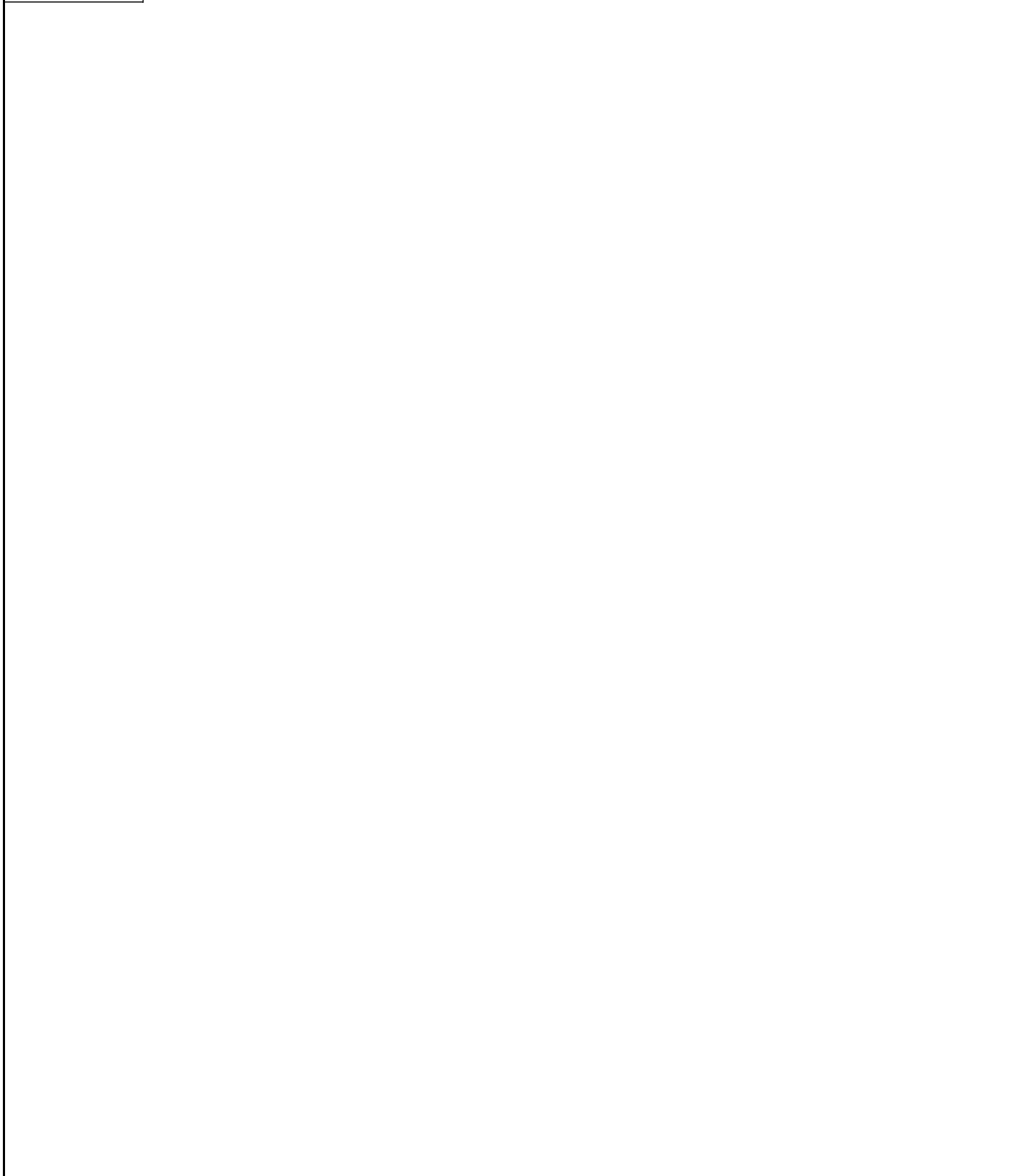
(電話 )

大阪広域水道企業団水道事業給水条例・熊取水道事業に係る大阪広域水道企業団水道事業給水条例施行規程に基づき、給水装置工事に係る給水装置竣工届・給水装置工事検査申請書を提出します。

給水装置工事施行場所	地番表示	熊取町		
	住居表示	熊取町		
指定給水装置 工事事業者				
給水装置工事 主任技術者				
給水装置の種類	専用栓・工事用栓・臨時栓・給水引込管のみ・貯水槽下流・私設消火栓			
許可番号	企 熊 第 一 一 号			
自主検査年月日	令和 年 月 日	検査内容及び適合確認については、別紙自主 検査報告書のとおりとする。		
竣工検査希望日時	令和 年 月 日 時	検査予約の有無	有・無	
※ 竣工検査日時	令和 年 月 日 時			
備 考				

注意事項 1. 水圧テストの記録を添付すること。

方位



- 注意事項
1. 図面は原則として縮尺 100分の1 とすること。
  2. 配管は新設管（赤）、本管・既設管（黒）で色分けし、正確に本管より宅内の水栓まで記入すること。  
（管種・口径・延長・寄り・立ち上げ・止水栓・メーター・水栓）
  3. 建築物は前面道路及び敷地境界線を含めて記入し、門、側溝、ブロック塀、ガレージ等の対象物も記入すること。
  4. 境界線から引込み位置までの距離、及び本管より分岐した場合は、本管の寄り・深さを記入すること。
  5. 本様式の記入事項を満たしていれば独自様式に替えることができる。ただし、用紙はA3ヨコまたはA4タテとすること。

注意事項 1. 図面は原則として縮尺 100分の1 とすること。

2. 配管は新設管（赤）、本管・既設管（黒）で色分けし、正確に本管より宅内の水栓まで記入すること。

（管種・口径・延長・寄り・立ち上げ・止水栓・メーター・水栓）

3. 建築物は前面道路及び敷地境界線を含めて記入し、門、側溝、ブロック塀、ガレージ等の対象物も記入すること。

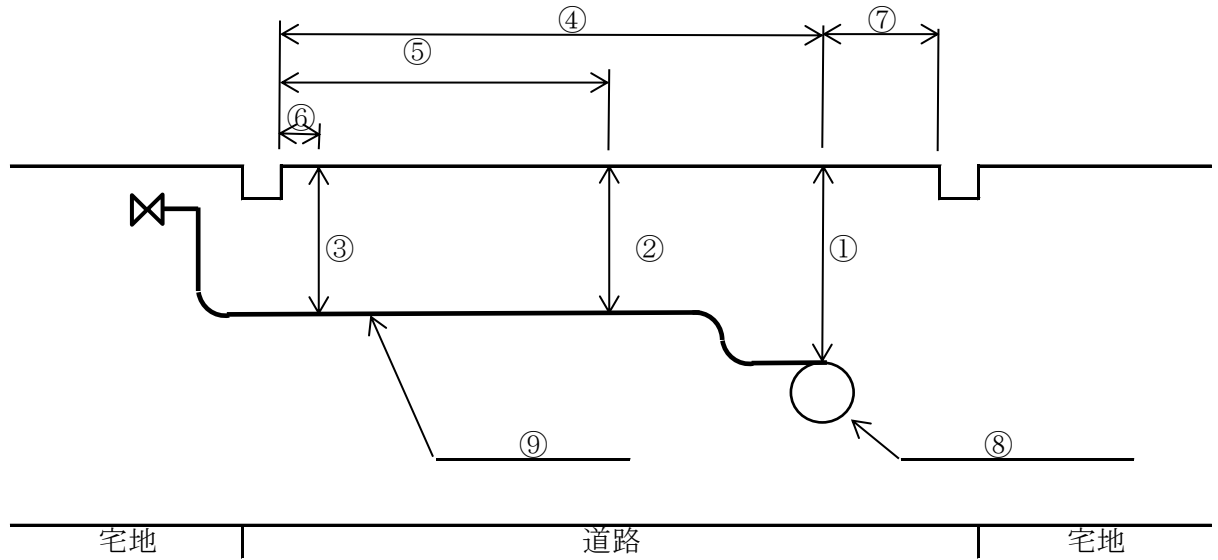
4. 境界線から引込み位置までの距離、及び本管より分岐した場合は、本管の寄り・深さを記入すること。

5. 本様式の記入事項を満たしていれば独自様式に替えることができる。ただし、用紙はA3ヨコまたはA4タテとすること。

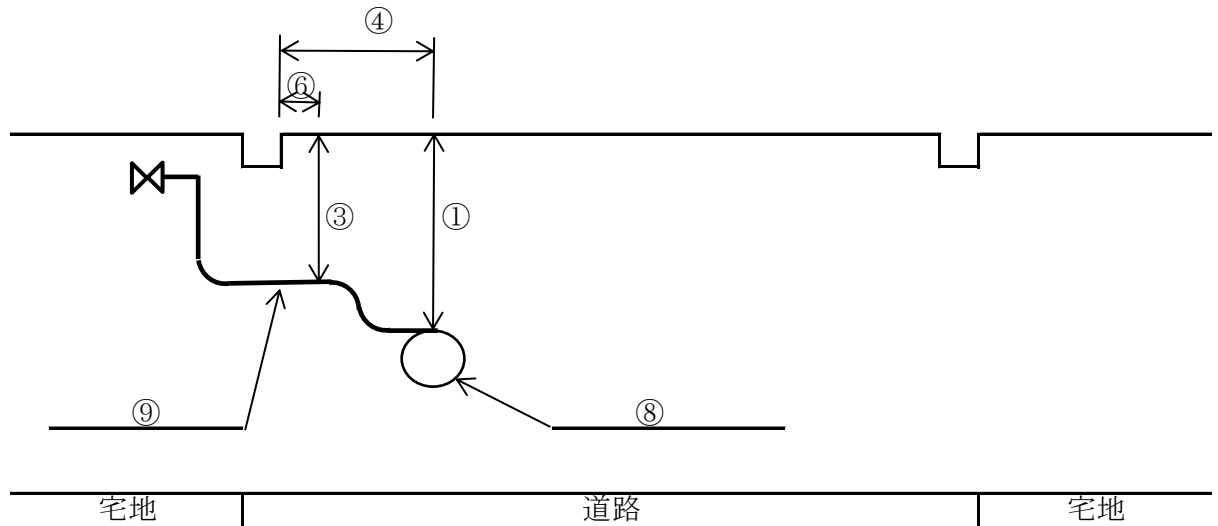


# 給水引込管配管断面図

給水管が、道路センターを超える場合



給水管が、道路センター超えない場合



埋設深さ

① \_\_\_\_\_ m    ② \_\_\_\_\_ m    ③ \_\_\_\_\_ m

寄り

④ \_\_\_\_\_ m    ⑤ \_\_\_\_\_ m    ⑥ \_\_\_\_\_ m

⑦ \_\_\_\_\_ m    ※④⑦の欄については、どちらか一方の数値記入が良い。

配水管

⑧ 管種 \_\_\_\_\_ 管径 φ \_\_\_\_\_ mm

給水管

⑨ 管種 \_\_\_\_\_ 管径 φ \_\_\_\_\_ mm

※道路側溝が無い場合等については、道路境界等を代用すること。

注意事項 1. 本様式の記入事項を満たしていれば独自様式に替えることができる。ただし、用紙はA3ヨコまたはA4タテとすること。

# 給水管配管状況写真

①配水管埋設深さ・寄り(全体)	①配水管埋設深さ・寄り(計測器アップ)
②給水管埋設深さ(道路センター部)(全体)	②給水管埋設深さ(道路センター部)(計測器アップ)
③給水管埋設深さ(敷地境界部)(全体)	③給水管埋設深さ(敷地境界部)(計測器アップ)
一次止水栓周辺配管状況	メーター周辺配管状況

注意事項 1. 本様式の記入事項を満たしていれば独自様式に替えることができる。ただし、用紙はA3ヨコまたはA4タテとすること。

受 付						所 長	所長補佐	総括チーフ		入 力	受 付
令和 年 月 日											

## 給 水 装 置 開 栓 申 込 書

申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

申 込 者 住 所

氏 名

( 電 話 )

大阪広域水道企業団水道事業給水条例第19条の規定に基づき給水装置の開栓を申し込みます。

区 分	使 用 者	給 水 装 置 所 有 者 ( 家 主 )
住 所	( 電 話 )	( 電 話 )
ふりがな		
氏 名		

給 水 装 置 設 置 場 所	熊 取 町 ( 棟 号 )
開 栓 ( 使 用 開 始 ) 年 月 日	令 和 年 月 日 ( 午 前 ・ 午 後 時 分 )

## 量 水 器 保 管 書

量水器 mm一個を借用いたしました。もし量水器を破損亡失したときは、その理由を問わずご指示に従い代金を賠償します。

借 用 者

量 水 器	交 付 年 月 日	令 和 年 月 日	備 考	立 会 い ( 有 ・ 無 )	前 回 指 示 数
	口 径	mm		送 付 先 ( 有 ・ 無 )	
	会 社 名			転 居 ( 町 内 ・ 町 外 )	
	番 号			口 座 振 替 ( 有 ・ 無 )、現 地 ・ 送 付	
	指 示 数			口 座 引 継 ( 有 ・ 無 )	
	有 効 期 限	令 和 年 月			

給 水 番 号											確 認
				-					-		



受 付				所 長	所長補佐	総括チーフ		入 力	受 付

令和 年 月 日

## 閉 栓 願

申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

願 出 者 住 所  
氏 名

(電話 )

大阪広域水道企業団水道事業給水条例第7条の規定に基づき給水装置の閉栓を届けます。

区 分	使 用 者	給 水 装 置 所 有 者 ( 家 主 )
住 所	(電話 )	(電話 )
ふりがな		
氏 名		

給水装置設置場所 熊取町 (棟 号)

閉栓年月日 令和 年 月 日 (午前・午後 時 分)

閉栓後の連絡先 (電話 )

閉 栓 処 理 経 過			料 金 精 算 方 法 等	
量 水 器	閉栓年月日	令和 年 月 日	精算方法	口座振替・納付書
	口 径	mm	未納料金	有(令和 年 月から、 円)・無
	会 社 名			
	番 号			
指 示 数				

備考 前回指示数

給 水 番 号										確 認
				—					—	

受 付			決	所 長	所長補佐	総括チーフ		入 力	受 付		
			裁								
								令 和	年	月	日

## 給水装置所有者(代理人・管理人)届

申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

届 出 者 住 所

氏 名

(電 話 )

大阪広域水道企業団水道事業給水条例(第5条・第6条)の規定に基づき給水装置の(代理人・管理人)を届けます。

区 分	所 有 者	代 理 人 ・ 管 理 人
住 所	(電 話 )	(電 話 )
ふりがな		
氏 名		

給水装置設置場所	熊取町 (棟 号)
開栓(使用開始)年月日	令和 年 月 日 (午前・午後 時 分)

## 量水器保管書

量水器 mm一個を借用いたしました。もし量水器を破損・失したときは、その理由を問わずご指示に従い代金を賠償します。

借 用 者

量 水 器	交 付 年 月 日	令和 年 月 日	備 考	立会い(有・無)	前回指示数
	口 径	mm		送付先(有・無)	
	会 社 名			転居(町内・町外)	
	番 号			口座振替(有・無)、現地・送付	
	指 示 数			口座引継(有・無)	
	有 効 期 限	令和 年 月		- - -	

給 水 番 号										確 認
				-					-	



受 付			決	所長	所長補佐	統括チーフ		入力	受付
			裁						
			令和 年 月 日						
<b>給水装置使用者変更届</b>									
申請先 大阪広域水道企業団 企業長 様			住所 届出者 氏名  (電話 )						
給水装置の使用者に変更がありましたので大阪広域水道企業団水道事業給水条例第7条の規定に基づき届けます。									
区分	新				旧				
住所					移転先  (電話 )				
フリガナ 氏名									
変更年月日	令和	年	月	日	メーター番号		指示数		
給水装置設置場所	熊取町				(棟号)				
<b>量水器保管書</b>									
量水器 mm一個を借用いたしました。もし量水器を破損亡失したときはその理由を問わずご指示に従い代金を賠償します。									
借用者									
料金納付状況					備 考				
未納料金	有(令和 年 月から、円)・ 無 (口座一括・納付書)								
口座振替希望(有・無)、用紙送付(有・無)									
給 水 番 号									
				-				-	確認

申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

使用者 住 所  
(届出者)  
氏 名

## 共用給水装置使用世帯異動届

次のとおり共用給水装置使用世帯数に異動があったので届けます。

記

給水装置の設置場所		
建物の名称		
使用世帯数	異動後	世帯
	異動前	世帯
異動世帯数		(増・減) 世帯

給水番号					—					—		
------	--	--	--	--	---	--	--	--	--	---	--	--

大阪広域水道企業団  
企業長 様

申請者 住 所  
氏 名  
担当者  
連絡先

### 私設消火栓使用許可届

下記のとおり、防火訓練実施のため下記許可条件を遵守し、私設消火栓を使用したいので、大阪広域水道企業団水道事業給水条例第7条第1項第4号により、届けます。

#### 記

使用場所	熊取町	番地
使用日時	令和 年 月 日	時 から 時まで
施設名		
使用回数	回	
添付書類	位置図、配管平面図、その他( )	
備考		

#### 許可条件

- 私設消火栓の使用は消防又は消防の演習以外に使用しないこと。また、消防の演習の際は企業団職員の立会が必要となります。(企業団条例第22条)
- 消防の演習のために消火栓を使用するときは、演習1回につき消火栓1個当たり600円(税抜き)とし、使用料は、後日精算すること。  
なお、演習1回につき私設消火栓の使用時間は5分以内とする。(企業団条例第26条第5項)
- 消防の演習に使用する消火栓の開閉操作について、立会する企業団職員の指示に従うこと。
- その他、消防の演習時に周辺区域に濁り水等が発生する等、何らかの問題が生じた場合は、企業団職員の指示に従うこと。

決 裁	所 長	所長補佐	総括チーフ		チーフ及びサブチーフ			

大阪広域水道企業団  
企業長 様

届出者 住 所  
氏 名  
担当者  
連絡先

### 私設消火栓使用届出書

下記のとおり、防火訓練実施のため私設消火栓を使用したので、大阪広域水道企業団水道事業給水条例第7条第2項第4号により、届出るとともに、同条例第26条第5項により、使用料を納付します。

#### 記

使用場所	熊取町 番地
使用日時	令和 年 月 日 時 から 時まで
施設名	
使用回数	回（使用時間は5分以内）
添付書類	位置図、配管平面図、その他（ ）
備考	

※大阪広域水道企業団記入欄

上記、私設消火栓の防火訓練に立会した結果、私設消火栓の使用回数及び使用時間について、上記のとおり相違ないことを報告します。

大阪広域水道企業団 企業長 様

確認者 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

決 裁	所 長	所長補佐	総括チーフ		チーフ及びサブチーフ			

## 量水器取替通知書

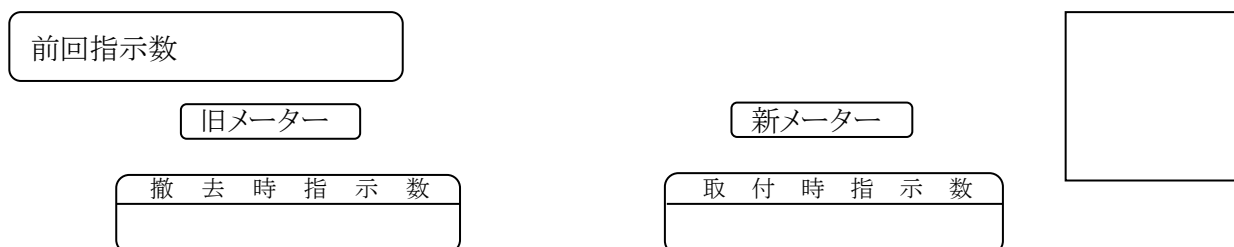
平素は、水道事業にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

本日、水道メーターを新しいメーターに取り替えさせていただきました。

なお、ご不明な点がございましたら 大阪広域水道企業団 熊取水道センター までご連絡ください。

- 1 使用者番号                      —                      —
- 2 水栓場所
- 3 使用者名
- 4 取替日

取替後初回検針分の水道料金は、新・旧水道メーターの合計使用水量により請求させていただくこととなります。



○ 検針時の使用水量は、下記の計算となります。

$$\left( \begin{array}{|c|} \hline \text{撤去時} \\ \hline \text{指示数} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{前回検針} \\ \hline \text{指示数} \\ \hline \end{array} \right) + \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{今回検針} \\ \hline \text{指示数} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{取付時} \\ \hline \text{指示数} \\ \hline \end{array} \right) = \begin{array}{|c|} \hline \text{今回} \\ \hline \text{使用料} \\ \hline \end{array}$$

問 合 せ 先 : 大阪広域水道企業団 熊取水道センター  
 TEL 072-452-0357



受付		決	所長	所長補佐	総括チーフ		入力	受付
		裁						
		令和 年 月 日						

## 給水装置所有者変更届 (量水器保管書)

申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

届出者 住所

氏名

(電話 )

給水装置の所有者に変更がありましたので大阪広域水道企業団水道事業給水条例第7条の規定に基づき届けます。

区分	新所有者	旧所有者
住所	(電話 )	移転先 (電話 )
ふりがな 氏名		
変更年月日	令和 年 月 日	

給水装置設置場所 熊取町 (棟号)

使用量料金処理経過				量水器	口径	mm
月別	使用水量	料金	収入日		会社名	
月分	m <sup>3</sup>	円	・		番号	
月分	m <sup>3</sup>	円	・		指示数	
月分	m <sup>3</sup>	円	・	有効期限	令和 年 月	
精算	令和 年 月 日 (午前・午後 時)			備考		
金融機関	銀行・金庫・組合		支店			
当・普		名義				

### 量水器保管書

量水器 mm一個を借用いたしました。もし量水器を破損亡失したときは、その理由を問わずご指示に従い代金を賠償します。

借用者

給水番号										確認
				—					—	

令和 年 月 日

申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

申請者 住所

氏名

(電話 )

## 給水装置工事(変更・取消し)届出書

熊取水道事業に係る大阪広域水道企業団水道事業給水条例施行規程第8条の規定に基づき給水装置工事(変更・取消し)を届けます。

給水装置工事施行場所	地番表示	熊取町
	住居表示	熊取町
指定給水装置工事事業者		
給水装置工事主任技術者名		
許可番号	企熊第 ー ー 号	
給水装置工事変更内容		
別添書類の有無	有・無	
備考		

太枠内のみ記入すること。また、変更・取消しの該当しない方に=を引くこと。

受付		決	技術管理補助者	所長	所長補佐	総括チーフ			合議	
		裁								
		※決裁日						公印		
		令和 年 月 日								
		※許可書発行日								
令和 年 月 日										
※文書番号						企熊第 ー ー 号				

## 給水装置工事自主検査報告書(施行途中の確認項目含む)

給水工事場所		熊取町		自主検査日	年	月	日
給水番号		— — —		申込者			
検査種別及び項目		検査の内容				判定	
						確認	適合
公道部分	分岐部オフセット	01	構造物から正確に測定されているか				
	分岐部	02	穿孔部分にはメタルスリーブが施工されているか				
	埋設深さ	03	所定の深さが確保されているか				
	管延長	04	竣工図面と整合しているか				
	接合	05	適切な接合がなされているか				
敷地内	水道メーター	06	メーターは所定の位置に設置され、逆付け、片寄りがなく水平に取り付けられているか				
		07	検針、取替業務に支障はないか				
	直結止水栓	08	逆付け、傾きがないか				
	埋設深さ	09	所定の深さが確保されているか				
	管延長	10	竣工図面と整合しているか				
	各ボックス類	11	沈下、傾きがないか				
	止水栓	12	スピンドルの位置がボックスの中心にあるか				
	配管	13	給水用具等の位置が竣工図面と整合しているか				
		14	配水管に影響を及ぼす恐れのあるポンプに直接連結されていないか				
		15	水の汚染、破壊、侵食、凍結等を防止するための適切な措置がなされているか				
接合	16	適切な接合がなされているか					
貯水槽	吐水口空間測定	17	吐水口と越流面との位置関係の確認は正しいか				
	オーバーフロー管	18	オーバーフロー管の防虫金網の取付確認及び排水放流先の確保されているか				
		19	非常用の直圧給水栓は設置されているか				
	直圧給水栓	20	給水栓は施錠された施設中に設置されているか				
届出・報告	21	貯水槽設置に必要な届出は提出されているか					
機能検査		22	通水後、各給水器具からそれぞれ放流。メーター経由の確認及び給水器具の吐水量、動作状態について確認すること				
耐圧検査	サドル分水栓	23	サドル分水栓穿孔前に0.98Mpaまで加圧後、10分間保持しサドル分水栓の取付状態の異常がないことを確認しているか		記録紙又は写真必要		
	給水装置(厚生省令)	24	1.75Mpaまで加圧後、1分間保持し水漏れ、変形、破損その他の異常を生じていないか				
水質	水質の確認	25	臭気、味、色、濁り等は目視により異常がないことを確認。残留塩素についても確認しているか				
その他	説明	26	申込人に対して、給水用具等の取扱説明を行ったか				
	完成図面	27	申込人に対して、完成図面を提出したか				
	原状復旧	28	舗装本復旧工事が完了し、管理者への完了は確認されているか				

上記給水装置工事について、主任技術者にて自主検査を実施しましたので報告します。

指定給水装置 工事事業者名		給水装置工事 主任技術者	
------------------	--	-----------------	--

## 預かり金還付請求書

(令和 年度)

還付請求金額	
預かり金納付年月日	令和 年 月 日
契約・入居完了年月日	令和 年 月 日
工事名	熊取町 邸 工事

上記の金額を還付請求いたします。

令和 年 月 日

住所

氏名

(指定給水装置工事事業者)

住所

氏名

大阪広域水道企業団 企業長 様

## 領収証書

上記の金額を領収いたしました。

令和 年 月 日

住所

氏名

(指定給水装置工事事業者)

住所

氏名

大阪広域水道企業団 企業出納員 様

※ 裏面に預かり金証書(原本)を添付してください。

申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

申請者 住所  
氏名  
電話番号

### 3階建て以上建物への直結直圧給水事前協議書

3階建て以上建物への直結直圧給水施行基準に基づき、下記のとおり給水装置工事を計画しましたので、協議願います。

#### 記

- 給水装置設置場所 熊取町
- 指定給水装置工事事業者 \_\_\_\_\_ 連絡先 \_\_\_\_\_
- 給水装置工事主任技術者 \_\_\_\_\_

4. 建物の概要及び給水装置の概要

工事種別	新設・改造（給水番号 _____）		
建物種別	専用住宅・店舗・店舗付住宅 事務所・工場・事務所付住宅 共同住宅（ファミリー戸）・共同住宅（ワンルーム戸） 店舗・事務所付共同住宅（戸）・事務所・店舗ビル その他（ _____ ）		
建物の物	地上 階建て		
給水器具の最大高さ	分岐を計画している配水管の道路面より（ _____ ） m		
分岐を計画している配水管	口径 mm	管種	DCIP（GX・K・A等） HI（RR・TS） その他（ _____ ）
予定使用水量	1日当り 瞬時最大	m <sup>3</sup> /日 ℓ/分	予定水栓数 _____ 栓
予定水量算出根拠（給水用具数＋同時使用率）			

- 添付書類 位置図・平面図・立面図・誓約書（様式第55号）その他必要とする書類
- 現地水圧測定について  
3階建て以上建物への直結直圧給水施行基準に基づく現地水圧測定を依頼いたします。また、測定値についても提供を併せてお願いいたします。

申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

### 3階建て以上建物への直結直圧給水に係る誓約書

3階建て以上建物への直結直圧給水について施設の存続する限り下記条件を遵守し、維持管理を行うことを誓約します。

#### 記

1. 給水装置工事申請承認後、給水装置の改造はしません。
2. 将来、配水管の水圧・水量の変動により水圧低下を生じても異議申し立てをしません。なお、給水上の支障に対応できる増圧装置の設置スペースを確保しておきます。
3. 上記2の事項が発生した場合、自己費用で、設備等の改造を行い速やかに対応します。
4. 給水装置の所有者又は使用者が変更となった場合は速やかに届けるとともに、この内容を継承します。
5. 個人私有地内での漏水や維持管理については、自己負担で全て対応します。また私有地内で漏水のあった場合の漏水量に該当する料金についても請求があった場合負担します。維持管理や修繕対応に支障のある場合は施設全体を断水されても異議申し立ていたしません。
6. 所有者と使用者が異なる場合（共同住宅・店舗・工場等）は特に使用者への周知を行います。
  - ① 使用者への通知
    - 1) 直結直圧給水をしているため事故等による断水や、水圧の影響を受けやすい施設であること
    - 2) 出水不良時の1階部分での水栓の位置や共用栓の位置
    - 3) 緊急連絡先

所有者 住所

氏名

印

電話番号

管理者 住所

氏名

印

電話番号

様

大阪広域水道企業団  
熊取水道センター所長

### 3階建て以上建物への直結直圧給水事前協議回答書

令和 年 月 日付けで事前協議申請のありました3階建て以上建物の給水については下記のとおり回答いたします。

#### 記

1.  直結直圧式給水が可能ですので、下記条件を厳守して下さい。
- 1 誓約書の内容を遵守してください。
  - 2 直結直圧式給水施行基準を遵守してください。
  - 3 給水規模や建物の用途に変更が生じた場合は、再協議が必要です。
  - 4 再協議の結果、直結直圧式給水が不可と判断された場合は、他の給水方式に変更して下さい。変更となった場合の費用についてはすべて申請者の負担とします。
  - 5 給水装置工事申請時に本書を持参し、複写を添付してください。
  - 6 設計水圧 \_\_\_\_\_ Mpa
- 下記理由により直結直圧式給水が不可能ですので、他の給水方式を検討して下さい。
- 1 当該協議地は必要有効水圧が確保されておりません。
  - 2 当該建物については、施行基準適用範囲外です。  
 ア 建築物の用途      イ. 配水管適用外      ウ 給水装置適用外  
 エ その他( \_\_\_\_\_ )

#### 2. 建建物及び給水装置の概要

受付番号	企熊第 _____ 号
給水箇所	熊取町
建物種別	
建 物 物	地上 _____ 階建て

3. 指定給水装置 工事事業者		給水装置工事 主任技術者	
--------------------	--	-----------------	--

4. 有効動水圧	
計画有効動水圧	現地測定有効動水圧
	≧
Mpa	Mpa
	当該必要有効動水圧
	Mpa

申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

申請者 住所  
氏名  
電話番号

### 3階建て以上建物への直結増圧給水事前協議書

3階建て以上建物への直結増圧給水施行基準に基づき、下記のとおり給水装置工事を計画しましたので、協議願います。

#### 記

- 給水装置設置場所 熊取町 \_\_\_\_\_
- 指定給水装置  
工事事業者 \_\_\_\_\_ 連絡先 \_\_\_\_\_
- 指定給水装置工事  
主任技術者 \_\_\_\_\_

#### 4. 建物の概要及び給水装置の概要

工事種別	新 設 ・ 改 造 (給水番号 _____)		
建物種別	専用住宅・店舗・店舗付住宅 事務所・工場・事務所付住宅 共同住宅(ファミリー 戸)・共同住宅(ワンルーム 戸) 店舗・事務所付共同住宅( 戸)・事務所・店舗ビル その他( )		
建物物	地 上 階 建 て		
給水器具の 最大高さ	分岐を計画している配水管の道路面より ( ) m		
分岐を計画 している配 水管	口 径 mm	管種	DCIP ( G X ・ K ・ A 等 ) HI ( R R ・ T S ) その他 ( )
予定使用水量	1日当り m3	予定水栓数	栓
予定水量算出根拠(BL基準+各戸使用水量と給水戸数同時使用率)			

- 添 付 書 類 位置図・平面図・立面図・誓約書(様式1号)その他必要とする書類
- 現地水压測定について  
3階建て以上建物への直結増圧給水施行基準に基づく現地水压測定を依頼いたしま  
す。また、測定値についても提供を併せてお願いいたします。



申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

### 3階建て以上建物への直結増圧給水に係る誓約書

3階建て以上建物への直結増圧給水について施設の存続する限り下記条件を遵守し維持管理を行うことを誓約します。

#### 記

1. 増圧給水設備の特徴を理解し、使用者等に周知させるとともに事故時の出水不良等に関し企業団に対し申し立てません。
  - ① 停電や故障により増圧給水設備が停止したとき、又は給水制限等による断水や水圧低下に伴う出水不良が発生した場合は共用給水栓を使用します。
  - ② 企業団の配水管工事や量水器交換に際し、貯水槽式水道では断水にならない場合でも、一時的に断水となる場合があることを承諾します。
  - ③ 増圧給水設備の迅速な事故対応に備え、増圧装置等緊急連絡先表示板(様式第62号)を設置し周知します。
2. 増圧給水設備の機能を適正に保つため、1年に1回以上の定期点検を行うとともに、給水装置維持管理に関する届出書(様式第60号)を給水装置工事設計審査申請書提出時に併せて提出します。
3. 増圧給水設備に不良が確認された場合、直ちに修繕するとともにその内容について報告します。
4. 増圧給水設備設置に起因して、水質汚染、漏水や異常な水圧変動が発生した場合は設置者において問題解決を行うとともに、被害について企業団又はその他の被害者に責任をもって補償します。
5. 給水装置維持管理に関する届出の記載内容に変更が生じた場合、変更届(様式第61号)を提出するとともに当該誓約書の内容を継承し、使用者にも変更の旨を周知します。
6. 個人私有地内での漏水や維持管理については、自己負担で全て対応します。また私有地内で漏水のあった場合の漏水量に該当する料金についても請求があった場合負担します。維持管理や修繕対応に支障のある場合は施設全体を断水されても異議申し立ていたしません。

所有者 住所

氏名

印

電話番号

管理者 住所

氏名

印

電話番号

様

大阪広域水道企業団  
熊取水道センター所長

### 3階建て以上建物への直結増圧給水事前協議回答書

令和 年 月 日付けで事前協議申請のありました3階建て以上建物の給水については下記のとおり回答いたします。

#### 記

1.  直結増圧式給水が可能ですので、下記条件を厳守して下さい。
- 1 誓約書の内容を遵守してください。
  - 2 直結増圧式給水施行基準を遵守してください。
  - 3 給水規模や建物の用途に変更が生じた場合は、再協議が必要です。
  - 4 再協議の結果、直結増圧式給水が不可と判断された場合は、他の給水方式に変更して下さい。変更となった場合の費用についてはすべて申請者の負担とします。
  - 5 給水装置工事申請時に本書を持参し、複写を添付してください。
  - 6 設計水圧 \_\_\_\_\_ Mpa
- 下記理由により直結増圧式給水が不可能ですので、他の給水方式を検討して下さい。
- 1 当該協議地は必要最小動水圧が確保されておりません。
  - 2 当該建物については、施行基準適用範囲外です。  
 ア 建築物の用途      イ. 配水管適用外      ウ 給水装置適用外  
 エ その他( \_\_\_\_\_ )

#### 2. 建物物及び給水装置の概要

受付番号	企熊第 _____ 号
給水箇所	熊取町
建物種別	
建物物	地上 _____ 階建て

3. 

指定給水装置 工事事業者		給水装置工事 主任技術者	
-----------------	--	-----------------	--

4. 有効動水圧

計画有効動水圧	現地測定有効動水圧	≥	当該必要有効動水圧
Mpa	Mpa		Mpa

申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

## 給水装置維持管理に関する届出書

3階建て以上建物への直結増圧給水について施設の存続する限り下記条件を遵守し維持管理を適正かつ迅速に行うため届出します。

## 記

建物所在地	熊取町				
建物名称					
給水番号	— — —				
所有者	住所 氏名	連絡先			
建物管理者	住所 氏名	連絡先			
給水装置管理者	住所 氏名	連絡先			
増圧装置設備管理者	住所 氏名	連絡先			
増圧装置設備	製造メーカー名				
	製造年月日		設置年月日		
	型式			製造番号	
	口径		mm	吐出量	ℓ/m
	全揚程		m	出力	kw

- 3階建て以上建物への直結増圧給水に係る誓約書(様式第58号)及び直結増圧式給水施行基準を遵守します。
- 記載事項に変更が生じた場合は、変更届(様式第61号)を提出するとともに内容を継承します。

申請先 大阪広域水道企業団  
企業長 様

### 給水装置維持管理に関する変更届出書

3階建て以上建物への直結増圧給水に関する届出記載事項について変更が生じたので届出します。なお、施設の存続する限り下記条件を遵守し維持管理を適正かつ迅速に実施します。

#### 記

建物所在地	熊取町				
建物名称					
給水番号	— — —				
所有者	住所 氏名	連絡先			
建物管理者	住所 氏名	連絡先			
給水装置管理者	住所 氏名	連絡先			
増圧装置設備管理者	住所 氏名	連絡先			
増圧装置設備	製造メーカー名				
	製造年月日		設置年月日		
	型式			製造番号	
	口径		mm	吐出量	ℓ/m
	全揚程		m	出力	kw

1. 変更届出以前に提出されていた3階建て以上建物への直結増圧給水に係る誓約書(様式第58号)の内容を継承するとともに直結増圧式給水施行基準を遵守します。
2. 記載事項に変更が生じた場合は、変更届(様式第61号)を提出するとともに内容を継承します。

## 増圧装置等緊急連絡先表示板

この建物の水道は、増圧装置(ポンプ)により加圧し給水しているもので、停電やポンプの故障により断水や水圧低下することがあります。

停電やポンプの故障により断水や水圧低下した場合は、1階に設置している共用給水栓を使用してください。

故障やその他異常が認められた際は、下記の建物管理者、給水装置管理者又は増圧装置設置管理者へ連絡してください。

### 記

建物管理者	氏名 連絡先 休日夜間連絡先
給水装置 管理 者	氏名 連絡先 休日夜間連絡先
増圧装置設 備 管理 者	氏名 連絡先 休日夜間連絡先

# 確認書

令和 年 月 日

申請先 大阪広域水道企業団長  
企業長 様

設置者 住所

氏名 (自署又は記名押印) 印  
(電話 )

大阪広域水道企業団水道事業給水条例第20条及び給水装置工事設計施行指針による個人負担メーターを設置するにあたり、下記事項を遵守することを確認いたします。

## 記

- 計量法に基づく有効期限（8年間）満了による取替は企業長の指示に従い、当方の費用負担において行います。
- 万一、有効期限満了までにメーター故障等が発生した場合、企業長の指示に従い、当方の費用負担において速やかに対処します。
- 給水装置の所有者に変更が生じた場合又は分譲した場合、同時に上記内容を継承させます。

	種 別	メ ー カ ー	口 径	個 数	有 効 期 限
設置メーター	50mm以上メーター		mm	個	年 月
	遠隔式メーター		mm	個	年 月
			mm	個	年 月
設置場所	熊取町				
建物名称					
施工業者					

分岐先所有者  
様

分岐元所有者 住所

氏名

印

## 分 岐 承 諾 書

私所有の給水管から、下記の場所に設置される給水装置への分岐を承諾します。

また、万一、出水不良・水圧不足等の支障が生じても、異議を申しません。

記

1. 給水装置設置場所 熊取町

---

令和 年 月 日

給水装置設置者  
様

土地所有者 住所  
氏名

印

## 土地通過承諾書

下記の場所に給水装置を設置するにあたり、私所有の土地を掘削・通過(埋設)することを承諾します。

記

1. 給水装置設置場所 熊取町

---

2. 給水装置通過場所 熊取町

---

3. 埋設管情報 管種 口径 延長

---